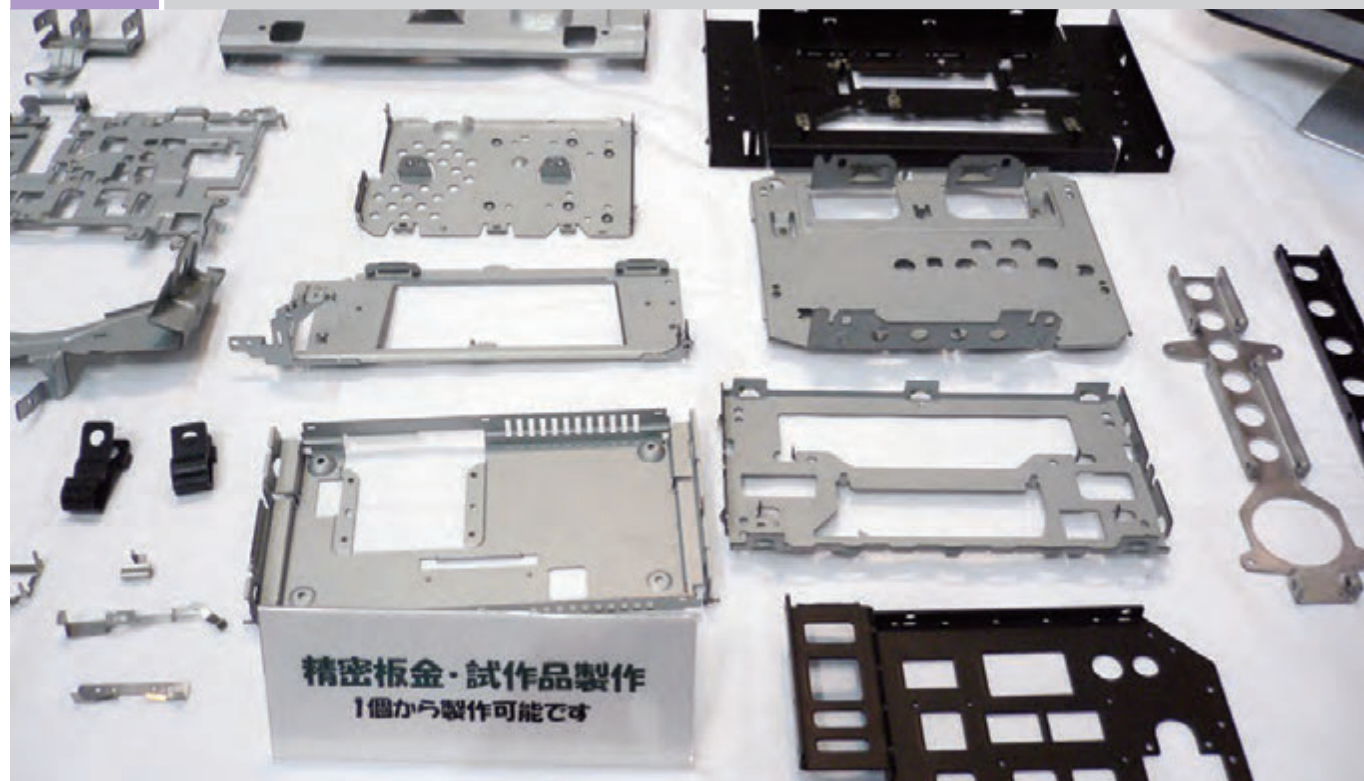




多彩な形状に仕上げた板金試作品

多彩な加工技術で夢やアイデアを形にする「精密板金夢工房」

平成25年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

YAGレーザー溶接機の導入により、溶接品質の向上を目指す

■ 事業概要

板金加工で曲げ加工などが終わった製品に溶接が必要な場合があるが、溶接時のゆがみや焼けなどで品質維持が難しくなるケースが起こる。一方で溶接技能の熟練度の差による溶接品質の良し悪しが問題にもなる。顧客が要求する溶接の品質維持のため、同社はYAGレーザー溶接機を導入した。ゆがみ取りや焼け取りなどはほとんど必要とせずレーザートーチ先端をワーク(加工対象物)に接触させて使うため、溶接経験が少ない作業員でも比較的簡単に使えるようになった。



課題

- 薄いステンレスや鉄の溶接が従来設備では難しい

取組

- YAGレーザー溶接機を導入

成果

- 0.5mm級の薄板でも溶接が可能になった

■ 業務内容

多様な要望に加工技術で応え、顧客から評価

大手製造メーカー出身の木村俊雄社長が平成元年8月8日に創業した。薄板精密板金の加工から試作品の製作、炭酸ガスレーザーによるカット加工、コンピュータ数値制御(CNC)タレットパンチプレス、ワイヤ放電カット加工などと事業の幅は広い。こうした加工を実現するため、設置している機械群も多様だ。レーザー加工機、プレスプレーキ、各種溶接機などをそろえる。木村社長は「お客さまからの要望に、加工技術で応える『便利なワークショップ』が当社の役目」と話す。技術力を評価する大手企業からの受注も多い。

板金加工と試作品製作などで多品種少量に対応

エイトテックの保有する機械が多いことについて木村社長は「仕事を受注するために機械を入れるのではない。『この機械があるので、こうした仕事ができる』というスタンス」と強調する。このため仕事量も増加していった。板金加工と試作品製作では、多品種少量対応に加えて「微細な板金から2メートルを超える筐体まで幅広く、いろんなモノに対応できる」と木村社長は胸を張る。板金加工に連動するワイヤカットなどにも対応する。切って、曲げるだけでなく、絞ることやプレス加工を伴う加工なども請け負う。同社は豊富な加工設備と培ってきた技術力を生かして、自社製品の開発にも乗り出している。



加工用の設備も豊富にそろえる

■ 強みとビジョン

創業以来30年培った加工技術で個人向け事業に参入

さまざまな各種機械設備を保有することもあり、顧客からの多様な要求に応えることができるエイトテック。設備とともに創業以来30年間磨いてきた技術力が強みとなっている。木村社長は「受注品となる試作品などを図面通りに製造するのも仕事だが自分たちで何かできないか」と考え、板金加工で個人向けのアクセサリや工芸品づくりにも着手した。アクセサリは城や動物など多種多彩だ。蚊取り線香置きなど実用的な製品もそろえる。テレビ番組に取り上げられたこともあり、注目度は増した。



業務用の噴霧装置

アイデア具現化で自社で図面化から設計し、製品へ

最近では一般向け製品で、石けんやパウンドケーキなどのカッターなど、ユニークな製品も数多く手がけている。「要望を聞いた上で図面化して設計し、製品に仕上げる」と木村社長が言うように、アイデアを具現化できるのが同社の強みでもある。企業向けがもちろん主力だが、B to C(対消費者)事業もビジネスとして成長軌道に乗りつつある。精密板金加工技術によって完成品を支えるが部品製造で力を発揮するとともに、試作での技術力で、将来の成長に向けてまい進する。



石けんカッター

地元イベントにも板金工作教室で積極的に協力



当社のキャッチコピーは「夢やアイデアを形にする精密板金工房」です。企業からの注文以外に個人向けも対応していますが、最近は毎年夏休みに地元自治体からの依頼で、子どもたちがモノづくりを体験する板金工作教室の開催にも協力しています。こうした取り組みにも今後、継続して力を入れていきたいと考えています。

代表取締役
木村 俊雄

- 社 名 株式会社 エイトテック
- 代表者 代表取締役 木村 俊雄
- 住 所 〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南3-7-3
- TEL 06-6308-7517
- FAX 06-6308-7526
- 資本金 50,000千円
- 従業員 9名

- 主な取引先 大手産業機械・家電メーカーなど
- 主な保有設備 炭酸ガスレーザー加工機2台、タレットパンチプレス1台、NCスタッド溶接機1台、アルゴン溶接機3台など
- 主 力 製 品 薄板精密板金加工、試作品製作、炭酸ガスレーザーカット加工、CNCタレットパンチプレス加工など

- 短納期
- 企画力
- 小ロットOK
- オンライン技術
- 試作OK
- 連携力

REPORTER'S EYE

「品質重視で納期を守った対応を続けていけば信頼してもらえて、リピートの注文がある」と木村社長は強調する。大きさを問わない部品加工を支えるのは創業から30年にわたって培ってきた技術力と豊富な機械。ただ下請けの部品加工に留まらずに、一般消費者向け製品が評価されているのもベースとする技術力を応用する力が備わっているからに他ならない。今後の部品受注の拡大とB to Cのアイデア製品拡充に期待したい。